

ゆぎょうじ

## 遊行寺だより

ホームページでも  
配信しています

境内の桜が満開になり、参拝者の方々を魅了しております。また、当山は『花の寺百ヶ寺』に登録されており、玄関前の芝桜や今月の下旬ころからは、ボタンやサツキが咲きはじめ境内を彩ります。皆様のご参拝、心よりお待ちしております。

## ◆ 今月の行事予定

しゃきょうえ  
・ 写経会【7日(日)午後1時】

どなたでも気軽に写経の体験ができます。  
受付は12時半からです。(御志納1,000円)  
道具はこちらで用意しており、写経終了後各自解散となります。



しゃくそんごうたんえ  
・ 釈尊降誕会(花まつり)【8日(月)】

お釈迦様の誕生日をお祝いいたしましょう。  
本堂内に花御堂を飾り、甘茶と花の種をお配りします。  
お子様にはお菓子のプレゼントも!  
\* 法要は午前5時半と10時の2回行います。

しゅんきかいさんき  
・ 春季開山忌【20日(土)～24日(水)】

当山を開かれた吞海上人の忌日法要を行います。  
21日は御本尊遷座法要(11時と14時の2回)を修行  
します。  
行事日程はホームページをご覧ください。

げつれいほうわかい  
・ 月例法話会【23日(火)午後3時】

今月は本堂にて行います。今月で最後の開催となります。

当月講師:静岡県富士市 泰徳寺 木本鑑乗師

## ◆ 今月の催事予定

・ 骨董市【7(日)】

毎月第1日曜日…蚤の市  
〈問合せ:090-4416-2168(石田様)〉  
\* 午前7時より午後4時まで(雨天中止)



・ 野菜市【3, 10, 17, 24日(水)】

毎週水曜日 午前中出店・雨天中止

\* 今月は総本山行事のため、寺ヨガを実施致しません

## 〈ご報告〉

お陰様をもちまして、本年度も7名の在堪生(修行僧)を迎えることができました。

それぞれ時宗の僧侶になるべく、全国各地の宗内寺院から総本山に参りました。今後とも温かく見守りくださいますよう宜しくお願い申し上げます。



お稚児さん募集  
春季開山忌

今年も春季開山忌にご参加いただけるお稚児さんを広く募集いたします。お申し込みや詳細のお問い合わせは寺務所(☎0466-22-2063)までお願いいたします。申込用紙はホームページからもダウンロードしていただけます。

1. 集合時間 4月23日(火) 昼12時30分集合
2. 集合場所 遊行寺 御番方(寺務所 脇)
3. 行列開始 午後1時30分 開始
4. 行列場所 境内を通過して本堂へ(雨天の場合は、百間廊下～本堂)
5. 参加費 参加無料【ただし記念写真代は別途1,000円頂戴します。】
6. 受付人数 30名 定員 (※定員になり次第 締め切り)



新年度を迎えると、進学、就職や転職などに伴って、今までとは違った環境で生活を始める方が多いことでしょう。新しい環境では、初めてのことや慣れない仕事に戸惑うことがあったり、思ったような結果がでなかったりと、うまくいかないことで物事を後ろ向きに考えてしまうことがあるかもしれません。

近年、若者の早期離職率の高さが問題視されています。その要因には働く目的が定まらず、働くことへの意欲が見出せないことが挙げられています。目的をもって立ち向かわなければ、モチベーションも上がらず、つまらない・できない・やりたくない・面白くないといった感情にながされてその場から逃げるといった選択をしてしまいます。

では、皆さまにとって、働くことの目的はいったいなんですか。

「働く」の語源は「<sup>はた</sup>端を楽にする」ということからきていっているとされており。端とは、自分以外の周りの人を指します。仏教において、私たちは縁によってたくさんの人(端)との出会いがあり、生かされていると考えられています。つまり、端の支えにより自分が存在していることを知っていれば、自然と人との関わりを大切にする意識が生まれるはず。

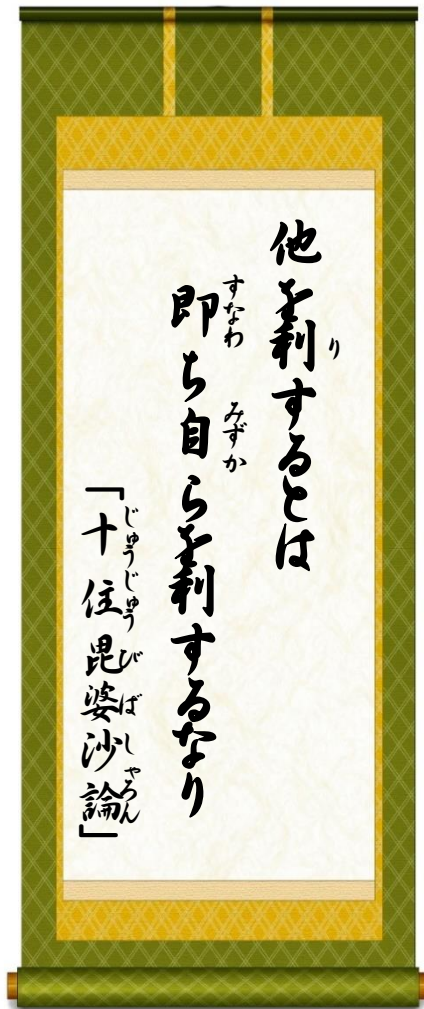
端を楽にするとは、端を幸せにすると解釈できます。私たちは、仕事をする目的をどうしても自分の利益に重きを置いて考えがちですが、『自分は他人をも幸せにするために仕事をしている』と考えると、行動の仕方に変化がでて、単純な理由で投げ出すことが減るのではないのでしょうか。そして、その行動のよき結果はやがて自分に返ってくることでしょ。

今月のお題「<sup>きゃっ か しょう こ</sup>脚下<sup>じきざ</sup>照顧」は、総本山の玄関先と食座(食堂)の入口に掲げられた言葉です。脚下(自分の足元)をみて履物を揃えだすと、横に並んでいる他人の履物にも目がいき、同じく整えようという意識が生まれることから、自分を顧みて精進すれば人のことも支えられるようになるという意味があります。

うまくいかないときこそ今一度自分の行いを見直し、自分の支えとなっている人たちのことを考えることで、仕事の目的をみいだすことができ、意欲をもって臨めるのではないのでしょうか。

合掌  
ないごん す ときわ じじん  
(内近司 常盤 慈人)

## 今月のおことば



他人の利益を優先することの大切さを述べた龍樹(インド大乘仏教中観派の祖)のお言葉。

人間は互いに支え合って生きている。他者のために尽くすことは大切なこと。それは、巡り巡って最終的には自分の為にもなるのである。

facebook

フェイスブックでも遊行寺の様子や情報を配信しています。

最新記事をお読みいただけますので、ぜひ“いいね!”してください♪

時宗総本山  
遊行寺

〒251-0001 神奈川県藤沢市西富1-8-1

TEL:0466(22)2063 FAX:0466(23)8243

ホームページ: <http://www.jishu.or.jp>

